

当院の感染症対策について

いとう矯正歯科クリニック

当院では診療による院内感染を防止し、患者様へ安心安全の診療を提供できるように以下のような感染対策を行っております。また、待合室での感染を防ぐためには、皆様に気を付けて頂きたいこともございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

診療室での対策

- 使い捨て材料の利用
- オートクレーブによる滅菌
- 中性次亜塩素酸水（AP水）による除菌
- 診察室空気の汚染防止
- 治療イス使用後のアルコール消毒



紙コップ・エプロン・ゴム手袋・注射針・クリーニングブラシの先などは、使用のたびに捨て、新しいものを使用します。

オートクレーブ



ハンドピース専用滅菌器



金属やゴム製の器具で、繰り返し使用するものは、132度の水蒸気で菌やウイルスを死滅させます。器具類は患者様への使用ごとに滅菌し、滅菌状態を保つためパックで保管します。

AP水生成器



プラスチックなど熱に弱いものは、AP水に漬けておきます。約5分でほとんどの菌・ウイルスを無毒化します。



診察前にAP水でフクブクうがいをしていただくことで、お口の中の細菌数が減り、感染リスクが減少します。

口腔外バキューム



バキュームあり



バキュームなし



歯を削るハンドピースからは、水と空気が一緒に噴霧されます。すると、空気中にお口の中の細菌を含んだエアロゾルが発生し、診療室を汚染してしまう恐れがあります。口腔外バキュームはエアロゾルを効率よく吸入してくれます。掃除機のように大きな音がするのが難点です。

待合室での対策

- 手指消毒薬の設置
- 空気清浄機、次亜塩素酸噴霧による空間除菌
- 家具や手すり等のアルコール消毒
- こまめな換気



空間除菌のデントジア



世界基準の高い清浄力を誇るブルーエア社の空気清浄機

上記の対策をしっかりと行っていますが、待合室の状況はスタッフもすべてに目が行き届かないこともございます。感染症が流行している時期には、付き添いのご家族（とくに小さいごきょうだい）はできるだけ少なくしていただき、車での待機やお買い物など外出されることをお勧めいたします。

また、発熱、せき等の症状が強い方の診察はお日にちをあらためさせていただく場合がございます。